

# 進路だより

北九州市立特別支援学校  
北九州中央高等学園 進路支援部  
令和6年1月12日(金)  
第28号

## ◆新年が始まりました◆

冬休みはいかがお過ごしだったでしょうか？冬休みの様子を生徒に聞いてみると「血洗いや風呂掃除など家事をたくさんしました。」「規則正しい生活ができました。」「体がなまらないように体力作りをしていました。」などと話をしている生徒も見られ、年末年始を充実して過ごしたようでした。今年度も残すところあと三か月となりました。この三か月を充実したものに、次の学年や卒業後の生活へのステップアップとしてほしいです。



## ◆次の実習に また 卒後の生活に向けて考え 行動に移そう◆

1年生は 2年生の6月の実習へ向けて

- ・今回分かった課題や足りない課題を克服する努力をしていく
- ・仕事に必要な力は何か 考え 行動に移す

2年生は あと一年に迫った卒業へ向けて

- ・自分には何の仕事が向いているのか
- ・自分にはどんなことができるのか
- ・卒業後一人で生活をしていくのか 家族と一緒に生活をしていくのか
- ・働く上で生活する上で「障害福祉的な支援が必要か」「必要でないか」
- ・次の実習では 高校生ではなく社会人としてという気持ちで臨みましょう

上記の資料は、後期の実習報告会で進路支援部がまとめとして提示した資料です。1, 2年生は次の実習へ向け、課題を学校生活だけでなく、家庭生活の中でも解決していくことができるように、日々の生活を見つめ直し、しっかりと自分を磨きあげてほしいです。

家庭生活には、就職に結びつくことがたくさんあります。

## ◆卒業後の 社会参加と自立へ向けて大切なこと◆

社会参加…①挨拶、返事、言葉遣いをきちんとする

②感謝(ありがとう)の気持ちを持つ

③ルールを守る

自立…④できることは一人でする

⑤何事にも一生懸命に取り組む

⑥体調管理に気を付ける

⑦仕事や活動できる体力をつける



社会参加と自立へ向けて大切なことの内容は、実習先の方々とお話していただいた内容をまとめたものです。卒業後社会に出たら、働くことだけではなく、生活を一番に考えましょう。